



19前建 145号  
平成19年5月9日

国土交通省道路局長 殿

前原市長 松本嶺男



道路整備の中期的な計画の作成にあたる意見の提出について（回答）

標記のことについて、別紙のとおり回答します。

## 意見事項

### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

福岡都市圏における道路ネットワーク化は、福岡市街地を中心に一定の整備がなされてきていますが、全般的にはその都市を取りまく都市圏自治体の道路ネットワークの整備は、まだ不十分と考えます。今後、地域間格差が広がらないように、次のような整備を望むものであります。

- (1) 福岡市から唐津都市圏への広域ネットワーク道路で、本市から西部方面を含む産業振興の拠点となる企業団地へのアクセス道路である202号バイパスの一部未改修区域の早期に整備する必要があります。
- (2) 本市の市街地中心部から東側において、慢性的渋滞を解消するため、国道202号から202号バイパスを繋ぐ南北の道路整備及び、英知機能を有する九州大学の移転を機に経済効果を引き出すための道路「通称・中央ルート」の整備が急務となっています。
- (3) 本市の都市計画道路の整備率は35%であり都市計画道路の目的である都市空間の確保による都市防災の面や、天災人災の場合の緊急用道路としての役割、沿道利用による民間開発の活性化更に、市街地から202号バイパスへのアクセスによる経済効果の促進や、時間距離の短縮を求められる効果等が遅滞している状況があります。よって早期整備が必要であります。

以上、道路の早期基盤整備なくして安心安全の街の確保や経済への波及効果は期待できないと考えますので今後も国が地方の道路の現状を注視していただき、政策的に特定財源の継続や確保を強く重要視していただくことが必要と考えています。